

岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名：ワークプレイスマにわ

施設所在地：岡山県真庭市高屋376-1

施設種別：就労継続支援B型

運営主体：社会福祉法人 慶光会

施設長名：守屋 史一

評価月日：令和5年3月28日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：B 職員会議等で理念・基本方針の周知を図っているが、継続的な振り返りと取り組みが今後の課題である。
I-2 計画策定	評価：B 計画の策定にあたっては法人の経営方針を基に、中・長期的なビジョンを掲げ現状分析を行い、問題点を洗い出し、解決に向けて取り組んでいる。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：A 福祉サービスの質の向上に向け、課題があればミーティングを実施し、改善に向けて取り組んでいる。今後は業務の効率化を図り、更なる働きやすい環境整備に取り組んでいく。
II-1 経営状況の把握	評価：A 福祉情勢や地域のニーズの把握などは法人として情報収集を行うとともに、多面的に情報収集を行っている。事業所内ではコスト分析、コスト意識を職員に周知していくことが今後の課題である。
II-2 人材の確保・養成	評価：B 人材確保に向けた取り組みは法人の人事担当者を中心に実施している。職員のスキルアップの為、研修参加に取り組むとともに、より専門的な知識の向上のための勉強会も実施している。
II-3 地域との交流と連携	評価：B 地域行事への参加はコロナ過が続く中で中止が多く、参加する機会があまりなかった。今後は社会情勢や状況を踏まえ参加を検討していく。
III-1 利用者本位の福祉サービス	評価：A 人権擁護、虐待防止についてのアンケートを実施し、状況把握・課題発見に努めている。利用者一人ひとりに合ったコミュニケーションの方法や利用者の様々な思いを実現していく事については今後の課題である。

III-2 サービスの質の確保	<p>評価：B 支援員会議・ケース会議等、職員全員で情報共有や今後の取り組みを周知し、支援を統一化することで質の向上を図っている。</p>
III-3 サービスの開始・継続	<p>評価：A ホームページ・パンフレット等で法人及び事業所の概要を掲載している。利用者・保護者へはサービス内容等を理解しやすいよう丁寧な説明を行っている。</p>
IV-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価：B 事業所見学を行い、本人・家族の意向に沿って個別支援計画を策定し、説明したうえで承諾を得ている。家族とは電話等により日々、情報共有を行っている。</p>
IV-2 日常生活支援サービス	<p>評価：B 昼食を希望された方へは、法人の管理栄養士が栄養バランスに配慮し、献立された弁当を提供している。利用者へは事前に献立をお知らせしている。</p>
V-1 生活環境の整備	非該当。
VI-1 緊急時の対応	<p>評価：B 防災対応及び事故・急病への対応マニュアルを策定し職員全員へ配布し周知している。その他、年1回の避難訓練と救急蘇生法講習会を実施している。</p>
VII-1 就労意欲の醸成	<p>評価：B 安定して作業が出来るよう、配置等を考慮している。その他、労働成果が見える取り組みも行い、労働意欲の向上を図っている。品質管理は衛生管理を重点課題として取り組んでいる。 一般就労に向けて今以上に関係機関との連携を図り、利用者の方への情報提供を行う事が課題である。</p>

* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や未実施の場合はその理由など、評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。

* 「VII-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。